

# チェンライ日本人会 会報

N0163  
2021年11月号

## 2021年度『総会』が開催されました

本来、4月に開催される『総会』ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度同様に遅れての開催となりました。7月に郵送によるアンケートで暫定的に会員の皆様からはご回答を頂いておりましたが、改めて対面での議会を行いました。

当日は、コロナ禍ということで出席者数は会員数65名中24名でした。

各議題につきましては概ね賛成していただきましたが、お神輿の案件につきましては、次回の総会において再度審議することになりました。

今年度の活動予定では、『餅つき大会』を12月に実施することと致しました。

その他に、『BBQとONSENの旅』、『プー・チー・ファアの旅』の紹介がありました。

『安全対策連絡協議会』では、藤崎領事より、犯罪・交通事故・新型コロナウイルス情報について説明がありました。

今回はコロナ禍ということで終了後の懇親会は行わず、各自にお弁当を配りました。

ご出席をいただいた皆様には本当にご苦労様でした。

また、今回ご出席出来なかった方に置かれましたは、この後も会としての活動が有りますのでその節は是非ご参加くださるようお願いいたします。

会長 小杉誠輝

2 page

総会



3 page

ゴルフ愛好会



4 page

マンラーイ王



5 page

自転車



6 page

誕生日



7 page

おすすめ情報





チェンマイ領事館の安全対策連絡協議会

※詳細については次号会報に掲載いたします。



**お詫び** 先月に配布致しました『連絡網』に、南地区—田中PASSナラン **086-1855169** が漏れていました。付け加えてください。申し訳ございませんでした。

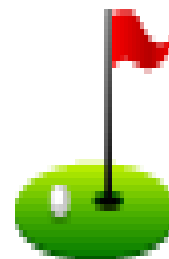
## ゴルフ愛好会🏆より

10月17日（日） ハッピーシティ G.C で行いました。

スタート時は曇り空で涼しくて絶好のゴルフ日よりでした。久しぶりに、新規参加者を含めて、2桁の10名の参加者が有りました。優勝は大ベテランの檜山さん、準優勝は伊藤さんでした。



次回は11月21日（日）ウオターフオード G.C を予定しています。ゴルフ好きの仲間を誘って多くの参加をおまちしています。参加希望者は須藤宛へ。



# マンラーイ王

チェンラーイ市内、国道1号線の五叉路にポー・ワン・マンラーイ王の像（1964年3月21日建立）が建っている。

ご存知のように、マンラーイ王（メンラーイ王とも言う）は、1262年1月26日にチェンラーイ（マンラーイの街）を建国した王である。

マンラーイ王（1238～1317）は、現在のチェンセーンで君主の息子として生まれ、23歳で君主になった。

翌年、元（モンゴル帝国）が雲南へ南下して来た時にチェンラーイに遷都し、コック川周辺の大小さまざまな都市国家を攻撃し、降伏させて勢力を拡大して1276年にはパヤオ地方をも攻めている。

その後もランブーンのモン族の王国やフアーンを攻めて1292年頃にこれらの街を陥落させ、更にビン川上流に進出して1296年にチェンマイに遷都し、『ランナー王朝（百万の田）』を成立した。

マンラーイ王は内政の強化に努め、モン族の法典を参考にして統治し、ランナー王朝は、その後280年ぐらい繁栄をした。

[1338年](#)、タイ族の[パヤオ王国](#)を併合し、[1443年](#)に[プレー](#)に侵攻して[プレー王国](#)を併合し、さらに[1448年](#)頃には[ナーン](#)の[カーオ王国](#)を併合するなど著しく勢力が拡大した。また、[1450年](#)から[1462年](#)には数度にわたり南進し、アユタヤ王朝と衝突した。

ランナーの繁栄は、治世末期の[1523年](#)、[チェントウン](#)に出兵し敗北したことで、多くの権力者や兵士らを失った。さらに[1524年](#)には水害もあり、人材と人口の減少が国内を大きく疲弊させたことが一因となり、ランナーは衰退の一途をたどった。

そして[1558年](#)、[ビルマ](#)の侵攻によりランナーは[タウンゲー王朝](#)の属国となった。

[1584年](#)、マハータンマラーチャーの子[ナレースワン](#)はアユタヤの独立を宣言する。[1590年](#)に王位を継いだナレースワン（在位1590-[1605年](#)）は、ビルマ軍を退け、[1594年](#)にはタウンゲーへ侵攻した。[1595年](#)、ペグー（[バゴー](#)）の戦いに勝利し、要衝の[マルタバン](#)を奪い返した。[1598年](#)にランナーを属国とすると、[1599年](#)には再びペグーからタウンゲーにかけて侵攻した。この第19代王ナレースワンの時代に「アユッタヤー」（「無敵の国」の意）の勢力範囲は最大にまで拡大した。

長くビルマの勢力下にあったランナーが[1804年](#)にビルマ軍を一掃したことで、チャクリー王朝の支配域に置かれるなど、この時代にトンブリー王朝よりさらに勢力は拡大した。



マンラーイ王の像  
チェンラーイの象徴であるマンラーイ王は、チェンラーイの人々が何か大事な行事が有るときは参拝に来て家内安全や無病息災を祈り、また車で通り過ぎる時などは合掌します。

# 自転車の旅



10月になって、風も涼しく感じられ、爽やかな天候になりました。

このような気分良い気候なので一人自転車で出かけることにしました。

今回は、家から約100Kmのチェンコーンを目指してサイクリングです。

家を早朝に出発、途中、田んぼの稲も色付き始めて穂も少し垂れ下がってきています。大型コンバインで稲刈りをしている田んぼもあります。

田んぼの側を流れる小川では、網を入れて漁をする農夫がいました。のんびりと、獲物との対面を独りで楽しんでいるかのようです。

1時間半ぐらい走ってやっと25Km付近に辿り着きました。

ここからは、メコン川に沿ってチェンコーン方面へ向かいます。

まずは、お寺で旅の安全を祈願し、近くのファームに立ち寄って腹ごしらえです。

タイでは、2015年頃から当時の国王と王妃陛下の誕生日を祝って、各地で市民参加型のサイクリングイベントが開催されてブームが起り、サイクリング専用コースも整備されて、多くの市民が楽しんでいます。

ここは、最近出来たサイクリングロードでまだ途中までしか出来ていませんが、メコン川の雄大な流れと、川を渡る爽やかな風を浴びながら走るのはとっても気持ち良いです。

今までは、わりと平坦な道でしたがこれからは山道に入ります。メコン川沿いの道、4007号線を迂回して行きます。

通り沿いの家並みをメコン川に沿って下ると、所々の木々の隙間から対岸のラオス領が見えます。メコン川沿いの眺めの良いところには、おしゃれなコーヒーショップが数件出来ていました。

チェンコーンから50Km付近で、4007号線は1290号線と合流します。ここから、チェンコーンまでの10Kmが最大の難所です。2~3ヶ所の10~14%の急勾配の峠を超えなければなりません。

全力を出して登りきった後は、これこそ苦勞して来た者でなければ味わうことが出来ない下り坂の爽快感があります。

山のとっぺんに立つ金色の仏像とラオス領の街、フェサーイが眼下に見えたらチェンコーンの街は直ぐです。



## 11月の誕生日

誕生日おめでとうございます

小仲 章夫さん	11月8日
瀬戸 慶一さん	11月7日
とべじろうさん	11月7日



Happy birthday

สุขสันต์วันเกิด

おでかけ情報

11月

## 一度は見たい絶景 コムローイ祭り

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、去年は規模が縮小されて開催されたチェンマイ「ロイクラトン」ですが、**今年は11月19日（金）と20日（土）の2日間**、タイ陰暦12月の満月の夜に開催されます。「ロイクラトン」は、13世紀スコータイ王朝で、川の女神へ感謝を捧げるため、バナナの葉でハスの花を形どった灯籠を作り、川へ流したことが起源。（タイ語で「ロイ」は流す、「クラトン」は灯籠の事。）コムローイ祭りは、チェンマイの町の至る所で行われていますが、ターペー門など、旧市街の人の集まる場所でコムローイ上げを楽しむことができます。千人以上の人が集まり、一斉に灯籠が上げられる会場には、メージョー大学やドイサケット温泉広場など数か所ありますが、チケットを購入しなければなりません。交通渋滞なども予想されますので「カオソーイ」などのチェンマイグルメに挑戦するのも良いでしょう！

